

木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(24年3月分)

1. 調査実施期間 平成24年 2月20日 ～3月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

3月分の回答企業数は30社、回収率は71.4%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = {(「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合)} ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		24/3月	24/4月	24/5月
仕入動向	国産材	-6.5	-4.3	-8.7
	外材	-5.2	-3.4	-1.7
販売動向	国産材	-8.7	-4.3	-2.2
	外材	-5.2	0.0	3.4
在庫動向	国産材	-6.3	-14.6	-6.3
	外材	-16.7	1.9	-1.9

仕入れは、先行き不透明感もあり、国産材、外材ともややマイナス基調で推移。
販売は、国産材、外材ともマイナスだが、5月に向け国産材はマイナス幅縮小、外材は若干プラスに。
在庫は、国産材、外材とも先行き不透明、一部供給減等もありマイナスだが5月に向け外材は多少好転。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	24/3月	24/4月	24/5月
スギ正角(グリーン)	-3.6	0.0	0.0
スギ正角(KD)	-3.1	0.0	0.0
ヒノキ正角	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	-6.7	0.0	0.0
米ツガ防腐土台角	-3.3	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	-6.7	0.0	3.3
米マツ平角	-10.0	3.3	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	-13.9	-2.8	2.9
ホワイトウッド集成管柱	-25.0	2.8	5.9
レッドウッド集成平角	-21.4	0.0	0.0
型枠合板(輸入)	-17.9	0.0	7.7
針葉樹構造用合板	-23.3	-3.3	3.6
針葉樹構造用合板(厚物)	-11.5	3.8	4.2

スギ正角(グリーン、KD)はやや弱い5月に向け保合いに、ヒノキ土台、ヒノキ正角は横ばい。
米ツガ正角(現地挽)、割物、土台はやや弱含みだが、5月に向けおおむね保合いに。
米マツ平角は、やや弱含みだが、5月に向けて保合いに。
北洋アカマツタルキは、弱含みだが5月に向けプラスに。
WW集成管柱、RW集成平角とも大きなマイナスだが、円の先安観等もあり5月に向け保合いに強保合いに。
合板は輸入、構造用、厚物とも弱含みも、5月に向け好転し、やや強保合いに。

1. 荷動き	
仕入れ動向	<p>米マツ一般材丸太の、米材2月積み輸出価格は据え置き。カナダ材は引き続きオールドは強含み、セコグロは保合いで変化はないものの、スプルース等白物丸太の出材は極端に少なく、不足感は全く解消されていない。(東京：米材問屋) 3月下旬に入荷予定で、一息つけそうだが、需要に比べ量が全く問題にならないほど少なく、焼け石に水の状態。(東京：米材問屋)</p> <p>2月は予想より売り上げ増、4月は少し売り上げが増加すると思うので、仕入れを増やしてゆく。(東京：集成材等問屋)</p> <p>2月の動きは最悪。(東京：外材問屋)</p> <p>産地は忙しい訳でもないが、価格は大手ほど高値維持。(東京：南洋・中国材問屋) ラワンB品の入荷が目立つ、アカマツFJLの入荷は順調。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>スギ材は安値を嫌って伐採が控えられている様子、良材柱は入手難。(東京：国産材問屋) 産地市場も原木、製品とも少なく、製品供給は減っている。(東京：国産材問屋)</p> <p>プレカット発注の関係で国産材の在庫はヌギ、二つ割りが主で他は当用買い。外材についても在庫のサイズは限定。(東京：仲買・小売) 材が少ない少ないと言いながらも強いという話が聞こえてこない。(東京：仲買・小売) 5社程のお客が仕事を始めた影響か3月に入って少し明るさが出てきた。(東京：仲買・小売)</p> <p>4月、5月は新築・リフォームがあり若干仕入れも多くなる予定。(大阪：仲買・小売)</p>
販売動向	<p>米マツ一般材丸太は、京浜マーケットでの本船入港がないことから問屋の新規商いは進んでいない。新材入荷がない分、メーカーからの引き合いも少なく価格に大きな変化はない。(東京：米材問屋) 在庫なしだが、徹底した当用買いで、価格上昇はなく、変動しない。(東京：米材問屋)</p> <p>春に向け、段々と売り上げは増加すると予想。(東京：集成材等問屋)</p> <p>3月に入ってもプレカットの稼働悪い。流通も比例して動き悪く春需要は見込み薄。(東海：外材問屋)</p> <p>リフォームや店舗の仕事が目立つ。最近加工付の注文が多く納期が厳しい。(東京：南洋・中国材問屋) ラワンA品は在庫が少なく、入港前に完売、メルクシパインFJLの荷動きは順調、円安により売値が上がる前に在庫を確保する動きがある。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>地震等不安材料多く、荷動きは非常に悪い。(東京：国産材問屋) 造作材、注文材の動きが良い。(東京：国産材問屋) 全くの不振。人員を削減せざるを得ない。(東京：国産材問屋)</p> <p>予定の新築物件の始まりが遅れ売り上げに結びつかない。ゼネコン関係の物件も少し間が空いて厳しそう。(東京：仲買・小売) 官公庁納入のスギ材を納めたら、「福島県産か？」と問われ、愛媛県産と答えたが、放射線量が大きな問題となるのではと危惧。(東京：仲買・小売) 遠い現場が多くなったが動いている。(東京：仲買・小売) 景気のいい話もあるが、総じてあまり良くない。(東京：仲買・小売)</p> <p>仕事の量は全く減少、荷動き悪い。(大阪：仲買・小売) 小規模リフォームが多くなり柱角等の構造材の出荷が減少している。(大阪：仲買・小売)</p>
在庫動向	<p>京浜マーケットでの米マツ丸太の問屋の手持ち不良在庫は見あたらぬ。スプルース等白系丸太は、入荷後即売状態が続いている。(東京：米材問屋) 平割りが数枚という在庫状態、今月末の入荷が極端に少ないため、商材に回せない状況。(東京：米材問屋)</p> <p>在庫は現状を維持。(東京：集成材等問屋)</p> <p>入荷と出荷のバランス取れている。ラワンB品は在庫が目立つ。(東京：南洋・中国材問屋) 全く荷動きの無いものも埠頭では見受けられるが、おおかたは、入荷後数日以内に動いている。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>良材製品は需要少なくとも積極的に仕入れたいが良材が出てこない。(東京：国産材問屋)</p> <p>新しい取引先が増え、在庫品の種類が更に増えた。(東京：仲買・小売)</p>
2. 価格動向	
スギ正角	<p>変化なし。(東海：外材問屋)</p> <p>相変わらず保合。(東京：仲買・小売)</p>
ヒノキ正角 土台角	<p>変化なし。(東海：外材問屋)</p>
米ツガ	<p>4月の新年度から円安の影響を心配。(東京：外材問屋)</p> <p>防腐土台2,000円/m³値下げ。(東海：外材問屋)</p>
米マツ平角	<p>横ばい。(東海：外材問屋)</p>
北洋アカマツ ツタルキ	<p>1,000円/m³程値下げ。(東海：仲買・小売)</p>
WW・RW 集成材	<p>管柱1,550円/本(先物値戻し5月入港より)、平角は底値で48,500円/m³。(東海：外材問屋)</p> <p>価格は今が底か(?)、円が安くなってきそうなので価格は上昇するのではないか(?)。(東京：集成材等問屋)</p> <p>問屋により管柱で1割の値開きあり、WW割物値下がりで、現在38,000円/m³。(大阪：仲買・小売)</p>
合板	<p>値下がり傾向。(東海：外材問屋)</p> <p>横ばいが続いている。横ばいの方が利益を出やすく、アップダウンは良くない。(東京：仲買・小売)</p> <p>ほぼ変動なし。(大阪：仲買・小売)</p>